

日本聖公会

# 大阪教区報



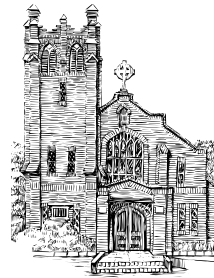
大阪聖ヨハネ教会



堺聖テモテ教会



庄内伝道所



主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会  
大阪教区総務局

〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097

発行責任者  
総務局長 司祭 内田 望

+++++ 第506号 2023年1月20日発行 +++++

## 「モノ」と人格

司祭 ヤコブ 義平雅夫

大阪聖アンデレ教会の建て替え計画がまとまった時、工事に先立って集会所にあるものをいったんぜんぶ整理しようという話になった。相当気合を入れて処分したつもりだが、中にひとつだけ捨てられないものがあつた。和室にあつた日本人形である。人形ってなんとなく捨てるのが怖い。神社に持って行って供養してもらおうかと考えた。

日本には「人形供養」とか「針供養」という習わしがある。長年使った「道具」なども、感謝と共に心を込めて葬る（供養する）らしい。最近ではそういった供養の専門業者もあるようで、インターネットで検索すると「料金プラン」や「セット割引」まで書いてある。

子どもの頃、一本の傘にまるで人格があるかのように感じ、それを失くしたとき深い喪失感を味わった私は、使い終わった針に「ごころうさん」と供養してやりたくなる人の気持ちはわかる気がする。何万キロも一緒に走ってくれた愛車を手放すときや、住み慣れた我が家を取り壊されるとき、私たちはたんに「モノ」



が消滅すること以上の悲しみや喪失を経験する。手放した愛車の写真をきれいな写真立てに入れて部屋に飾っている友人がいたが、きつと彼は今でも彼女（＝愛車）と対話しているのだろう。ひよつとすると浮気したことを謝っている

のかもしれない。寒い冬、松の老木に虫よけのむしろが巻かれているのを見ると、松もなんとなく暖かく感じているようにも見える。松に自分と同じような人格を見ているからだと思はう。

石や木といった自然の中に人格を見るなどというのは、ひよつとするとあまりキリスト教的でないのかもしれないが、昔、ユダヤ教哲学者マルチン・ブーバーの名著『我と汝』を読んだとき、この居心地の悪さがすこし解決したような気持になったことを覚えている。

ブーバーによれば、人間が世界に対して取りうる態度は二つあって、それは「我―それ」の「我」か、あるいは「我―汝」の「我」かのどちらかだということ。それ以外の「我」はない。相手を「それ」と呼ぶとき、相手は自分が消費し利用しうる「モノ」となるが、「汝」と呼びかけるとき、相手は自分が利用することも消費することもできないかけがえない存在となり、自分はむしろ「汝」によって在らしめられる、「我」となる。その

究極が「永遠の汝」と呼ばれる神と人との関係である。針や人形を供養するのは、その中に「汝」を見出し、そこから言ったらブーバーは卒倒するだろうか。しかし私には、どんな対象にも「汝」を見出すことは可能だと思えるし、写真立ての中の元カノ（愛車）を見つめる彼の背中に、「汝」に生かされる「我」を見てしまうのである。

（大阪聖アンデレ教会牧師／  
桃山学院中学校高等学校  
チャプレン）





### 2023年、大阪教区は 教区成立100周年を 迎えます。

主教 アンデレ 磯 晴久

主を喜び祝うことこそ、あなたがたの力の源である  
ネヘミヤ8:10 f

いつも大阪教区のために祈り、お支え下さいますことを感謝申し上げます。

今年2023年は大阪教区の教区成立100周年の年となります。大阪教区と致しましては、6月11日(日)午前10:30プールの学院メアリーズホールにて、教区成立100周年感謝記念礼拝を予定しております。また、昨年来教区成立100周年記念行事実行委員会を立ち上げ、様々な準備を進めております。

私もどのように、記念の年を迎えるかをお祈りして参りましたのが、上記のネヘミヤ記の一節でした。

「主を喜び祝うことこそ、あなたがたの力の源である」  
ネヘミヤ記は、バビロン捕囚で破壊されたエルサレムの神殿を再建する出来事が記されています。新型コロナウイルス禍の影響や、それだけではなく、聖職数の減少、信徒の高齢化、財政の逼迫など、私たちの教区・教会は大きな課題を抱えて、随分と力が弱ってしまいました。

私たちの使命は、教区教会の立て直しにあります。みんなで聖霊の力を祈り求めて、教区教会の立て直しを開始しましょう。そのために、記念感謝礼拝の日だけでなく、2023年1年間を記念の年として歩み出したいと存じます。

教区教会の立て直しの力の源は、「主イエス・キリスト」です。私は祈りの中で、共に歌いつつ歩み出す聖歌を与えられました。聖歌517番です。特に、2節です。「主がわたしを呼ばれた すべての人々に その愛と喜びの 便りを告げ知らせるために 主がともにわたしと いつも告げ知らせてください 主が来られたから 主がわたしの道を行こう。」

主の導きを祈りつつ。

### 信徒の集い

## 「2022年ランベス会議と 故エリザベス女王の信仰をめぐって」

イサク 寒河江 研司

12月17日(土)、大阪聖アンデレ教会を会場として連合男子会主催の「信徒の集い」が開催されました。

最初に、桃山学院中高聖歌隊の素晴らしい歌声に心が穏やかにされ、心ひとつにされました。それに続き、「2022年ランベス会議と故エリザベス女王の信仰をめぐって」を題として、西原廉太主教(中部教区主教、立教大学総長)に講演していただきました。

1867年の第1回ランベス会議が開催された経緯からお話くださいました。当時、全世界に聖公会が広まってい



講演者の西原主教

く中で、各国の文化や考え方などとキリスト教の教理がどうすり合うのか。特に一夫多妻制というアフリカの文化と一夫一婦制が基本であるとする英米聖公会の考えと一致できるか。そのような中、カンタベリー大主教は、「ランベスパレスに集まって全世界の様々な諸課題を話し合いましょう。」と全世界の144人の主教に招待状を送りました。

その呼びかけに76人の主教が参加しました。これが第1回目のランベス会議でした。そして今回の会議には、650人の主教が参加されましたが、ナイジェリア、ウガンダ、ルワンダ聖公会の主教(約300人)が参加されませんでした。教会は同性愛者、また、それを公言された者を司祭、主教職に按手してよいか。同性婚を祝福して認めてよいか。という賛否が大きな理由のひとつだったようです。この問題が、今、世界の聖公会が抱える大きな問題の一つだと語ってお

られました。この会議の議題であった、ランベスコールという10の項目を紹介してくださり、その中の「人間の尊厳」というテーマが大切であるとおっしゃっていたのも、そういった背景があるのだと思います。

開催中の一日の流れは、礼拝から始まり、そのあと聖書研究会があり、午後から会議をするということです。聖書研究の時間があることは、聖書の教えに耳を傾けることの大切さを教えていただきました。

最後にエリザベス女王の全世界の主教を通して聖公会信徒へのメッセージを紹介されました。また、前カンタベリー大主教による、エリザベス女王が信仰を大切にされていたことのエッセイを紹介してくださいました。

2時間にわたったお話でしたが、あつという間に時間が過ぎてしまいました。70人の参加者で、当日の献金は、中部教区愛知聖ルカセンターが始められた、NPO法人ルカ子ども発達支援ルームの為に届けられました。

(大阪聖三一教会信徒)

解説・宣教協働区・伝道教区とは？

―新制度提案の背景―

④

2018年に主教会が具体的な提案に向けて動き出した背景として、日本聖公会の現状に関する以下のような3つの懸念が挙げられます。

一つ目は、教区主教の選出が困難になりつつある状況です。過去21年間に主教は21人誕生しましたが、近年になるにつれ管区総会での選出が多くなり、自教区での選出が困難な状況が進んでいます。主教選挙は、法規に従い各教区の教区会で行われますが、聖職議員と信徒代議員による別々の投票で、それぞれ3分の2以上の得票があった者が当選者となります。当選者が得られなかった場合は、90日以降180日以内に、再度教区会で選挙を行い、それでもなお当選者が得られない場合は、管区総会での選出となります。

二つ目の背景は、信徒数の減少と高齢化です。1990年に約23,000人だった現在堅信受領者は、2020年までの30年間に約13,200人（減少率約43%）にまで減少しています。全国にある27の聖公会の教会は、現在堅信受領者数60人未満が7割を占め、46の教会は受領者数が9人以下、また3人未満という教会の要件を満たさないところが8教会存在しています。

三つ目の懸念となる教区の成立要件に深くかかわっています。日本聖公会法憲法規第一條に「日本聖公会は主教の司牧する若干の教区より成る管区である」と定められているように、私たちの聖公会は主教が宣教司牧する「教区」という自律した共同体を基本とします。「教区」は各教会に所属する信徒と、主教が派遣する司祭または執事で構成されますが、主教を補佐し「教区」の施政に携わる常置委員会の聖職常置員数は3人と規定されています。従って、「教区」には聖職は最低3人（補欠を含めれば4人以上）を在籍していることが不可欠となります。現実には、出向中の聖職が常置委員に選ばれている教区もあり、東北と沖繩では2028年に現任聖職数が5人になると予測されるなど、成立要件を満たすことが危ぶまれる教区が出てくる可能性は、すぐそこまで来ています。

大阪教区を含む6教区で現任主教が退職されることになっており、どの教区でも主教選出は大きな課題となっています。

以上のような現状を背景に、今回の主教会の議論は始まりました。その過程で最も重要視されたのは、教区要件を満たせずに伝道教区となる教区が出現してはじめて近隣教区間で協働を行うという消極的な形ではなく、まず日本聖公会の宣教体制強化と教区再編をはかるために、教区同士が協働する「宣教協働区」の設置を可能にすることでした。長年にわたり議論されながら実現しなかった11教区制の改革について、より積極的に宣教体制を立て直し、その統合・再編成を速やかに押し進めようとの判断に至ったのです。

2020年の第65（定期）

総会に出された提案理由には「主教会は、日本聖公会が日本社会における責任ある福音宣教を、今後も継続的・発展的に担い得る器であり続けるために、この議案を提出する」とあり、「挑戦的で創造的な旅の始まりとなる」歴史的な決断への意識が強く示されています。この総会にはコロナ禍のためオンライン開催となりましたが、制約がある中でも全教区の代議員が発言を重ね、最終的に原案のまま承認されました。次回は、「宣教協働区」と「伝道教区」という新しい制度について、その内容を説明します。（常置委員会）

023年以降2027年まで

東北教区と沖繩教区は、すでに教役者数が1桁になっており、今後、九州教区と北海道教区もこれに続きます。2028年には大阪、2029年には北関東教

日本聖公会大阪教区 宣教局  
生涯学習委員会 企画

プネウマの集い  
～「魂の癒し」を求めて～

第2回テーマ：「ゆるし」を考える  
【4回シリーズ】

①日時：2023年2月26日（日）  
14時～15時30分  
場所：日本聖公会 大阪教区  
大阪聖三一教会

②日時：2023年3月26日（日）  
14時～15時30分  
場所：日本聖公会 大阪教区  
聖贖主教会

申し込み不要・参加費無料  
・会場へは公共交通機関でお越しください。  
・お車でお越しの方は近くのコインパーキング  
をご利用ください

# 2023年度1月 大阪教区 諸委員一覽 (敬称略)

## ★教区主教

主教 磯晴久

## ★常置委員

司祭 小林聡 (長) 司祭  
内田 望 司祭 千松清美

辻 彩乃 (川口) 書記

寒河江研司 (三二)

## ★総会代議員

司祭 柳 時京

司祭 小林聡

太田幸彦 (ルシヤ)

辻 節子 (トマス)

## ★会計検査委員

春名英夫 (マタイ)

山本多津子 (マルコ)

## ■総務局

局長 司祭 内田望

## ☆法制委員会

司祭 松平功 (長) 司祭  
金山将司 小出裕司 (アン  
デレ) 春名英夫 (マタイ)

米満司郎 (ミカエル)

辻 節子 (トマス) 協力

委員―水畑裕美 (教区事務  
所)

## ☆歴史編集委員会

司祭 韓相敦 (長) 司祭

金山将司 奥田哲夫 (アン  
デレ) 加納佳世子 (アン  
デレ) 鈴木憲二 (ステパ  
ノ) 《協力委員―西口忠  
ノ》《桃山学院史料室》 司祭  
山本真》

☆広報委員会

司祭 金山将司 (長) 司  
祭 千松清美 寒河江研司  
(三二) 平井慶子 (アンデ  
レ) 尾形優子 (ヨハネ)

早川文字 (トマス) 協力  
委員―司祭 小林聡

## ☆管財委員会

國分映旺 (長 聖愛) 司  
祭 金山将司 寒河江研司  
(三二)

☆納骨堂手続き関係担当者

國分映旺 (聖愛)

☆教区墓地管理委員会

太田幸彦 (長) 石井英隆  
(聖愛) 《陪席―司祭 内  
田望 (総務局長)》

■宣教局

局長 司祭 古澤秀利

局長補 司祭 成岡宏晃

## ★部会の構成 (局長・各委員 の長・教区婦人会長・連合 男子会長)

司祭 古澤秀利 司祭 成  
岡宏晃 司祭 千松清美

司祭 ウイルソン ウォー  
レン 司祭 小林聡 小野  
田富美子 (アンデレ) 鈴  
木久美子 (マタイ) 寒河  
江研司 (三二) 《陪席―太  
田幸彦 (教区事務所)》

☆社会宣教委員会

司祭 小林聡 (長) 司祭  
原田光雄 司祭 古澤秀利  
司祭 成岡宏晃 田中廉  
(トマス) 浅海由里恵 (ガ  
ブリエル)

社会奉仕部門

司祭 内田望 山本久美  
(聖愛) 中尾由紀子 (マリ  
ヤ) 井上るみ子 (マルコ)

☆在日韓国・朝鮮人宣教協働  
委員会

司祭 小林聡 (長)

司祭 古澤秀利 司祭 ウ  
イルソン ウォーレン 司  
祭 原田光雄 司祭 金山  
将司 司祭 金頭昇 加納  
佳世子 (アンデレ) 眞子  
義人 (三二) 丹田則史 (ガ  
ブリエル)

《協力委員―呉光現

(聖公会生野センター)》

☆礼拝・音楽委員会

小野田富美子 (長・アンデ  
レ) 司祭 内田望 司祭  
柳時京 執事ヒュームユ  
ーワン 内海由美子 (川口)  
斎藤みち (トマス) 辻彩  
乃 (川口) 榎本愛 (三二)

☆生涯学習委員会

司祭 千松清美 (長) 司  
祭 成岡宏晃 司祭 金山  
将司 執事ヒュームユ  
ーワン 斎藤みち (トマス)  
エステルマクストン (城南)  
司祭 ウイルソン ウォーレン

☆大阪教区英語礼拝

局長 寒河江研司 (三二)

■財政局

司祭 千松清美 太田幸彦  
(ルシヤ) 糟谷茂 (守口)  
竹淵久子 (城南) 名出正  
(川口) 服部喜代司 (トマ  
ス) 西原素直 (守口) 中  
尾由紀子 (マリヤ) 《陪席  
―水畑裕美 (会計担当 教  
区事務所 司祭 内田 望  
(総務局長)》

☆財務委員会

司祭 千松清美 太田幸彦  
(ルシヤ) 糟谷茂 (守口)  
竹淵久子 (城南) 名出正  
(川口) 服部喜代司 (トマ  
ス) 西原素直 (守口) 中  
尾由紀子 (マリヤ) 《陪席  
―水畑裕美 (会計担当 教  
区事務所 司祭 内田 望  
(総務局長)》

☆聖職試験委員会

司祭 原田光雄 (宣教・牧

会) 司祭 ウイルソン  
ウォーレン (旧約聖書)  
司祭 松平功 (教会史・教  
理) 司祭 内田望 (礼拝)  
司祭 義平雅夫 (新約)  
鈴木光子 (ステパノ) 田  
尻忠邦 (ヨハネ)

☆聖職養成委員会

司祭 内田望 (長) 司祭  
千松清美 増山悦子 (川口)  
井上恵美子 (マリヤ)

☆教会支援委員会 (3月の臨  
時教区会まで)

司祭 義平雅夫 (長) 岐  
邨正昭 (ミカエル) 八木  
さゆり (ベテロ)

☆主教座聖堂参事

司祭 柳時京 (長) 司祭  
内田望 司祭 古澤秀利  
鈴木憲二 (ステパノ) 高  
橋明子 (川口) 小野田芳  
大 (アンデレ)

☆教区審判廷審判員 (任期4  
年・2024年の定期教区  
会終了まで)

主教 磯晴久 (長) 司祭  
内田望 司祭 原田光雄  
石田美郎 (聖愛) 井上美  
津 (マタイ) 佐野信三 (マ  
ルコ) 畑野めぐみ (マル  
コ) 吉岡康博 (ミカエル)

☆神学生後援会常任理事 (任  
期3年・2025年まで)

主教 磯晴久 司祭 金山将司 司祭 内田望 (総務局長) 寒河江研司 (三二) 松本愛子 (パウロ) 井上惠美子 (マリヤ) 聖職養成委員) 水畑裕美 (会計担当 教区事務所)  
**★管区連携の担当者**  
 ・青年司祭 金山将司  
 ・正義と平和司祭 小林聡  
 ・人権司祭 奥村貴充  
**★大宗連**  
 主教 磯晴久 太田幸彦 (教区事務所)  
 司祭 内田望 太田幸彦 (教区事務所)  
**★大阪教区成立100年準備委員会**  
 主教 磯晴久 (委員長)、司祭 柳時京 (副委員長)、太田幸彦 (総務)、司祭 成岡宏晃 (式典長)、司祭 内田望 司祭 古澤秀利 鈴木憲二 (記念誌・ステパノ) 寒河江研司 (記念行事、記念品・三一) 鈴木久美子 (記念行事、記念品・マタイ) 司祭 柳時京 (記念旅) 鈴木光子 (記念旅・ステパノ) 司祭 小林聡 (ビジョン) 司祭 古澤秀利 (ビジョン) 辻節子 (ビジョン・トマス) 協力委

**公 示**

救主降生 2022 年 12 月 23 日

日本聖公会大阪教区 教区主教  
主教 アンデレ 磯 晴久

司祭 バルナバ 小林 聡 2023 年 1 月 1 日付  
 聖贖主教会、大阪聖パウロ教会、高槻聖マリヤ教会牧師に任命する。

司祭 マルチン 韓 相 敦 2023 年 1 月 1 日付  
 聖贖主教会、大阪聖パウロ教会、高槻聖マリヤ教会牧師に任命する。

司祭 ペテロ 竹林 徑一 (退) 2023 年 1 月 1 日付  
 高槻聖マリヤ教会囑託を委嘱する。勤務は第三主日、ただし任期を 3 月 31 日までとする。

司祭 ジョイ 千松 清美 2023 年 1 月 20 日～2 月 28 日  
 入院・加療・療養のため休養を命じる。石橋聖トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会管理牧師の任を解く。期間は 2 月 28 日までとする。

司祭 テモテ 内田 望 2023 年 1 月 20 日付～2 月 28 日  
 石橋聖トマス教会、東豊中聖ミカエル教会管理牧師に任命する。期間は 2 月 28 日までとする。

員―西口 忠  
**★オンライン宣教委員会**  
 司祭 古澤秀利 (長) 司祭 小林聡 司祭 成岡宏晃 槻本愛 (三一) 協力委員―執事田宮紘  
**★中日本協働委員**  
 司祭 小林聡 太田幸彦 (ルシヤ)

**■諸団体**  
**★教区婦人会**  
 会長 鈴木久美子 (マタイ) チャプレン 司祭 内田望  
**★連合男子会**  
 会長 寒河江研司 (三一) チャプレン 司祭 原田光雄  
**★教区 G F S**  
 会長 岡崎敬子 (三一) チャプレン 司祭 千松清美

**★教役者会幹事**  
 司祭 ウイルソン ウォーレン 司祭 金山将司 司祭 成岡宏晃  
**★聖公会生野センター大阪教区後援会常任委員**  
 主教 磯晴久 (長) 鈴木憲二 (ステパノ) 丹田則史 (ガブリエル) 服部喜代司 (トマス) 松原恵美

**『大斎節の学び』**  
 ～大斎節中の礼拝について、  
 聖歌を歌いながら学びましょう～  
 お話：内田望 司祭  
 日時：2月25日(土) 13:30～15:30  
 場所：川口基督教会  
 主催：大阪教区礼拝・音楽委員会  
**★どなたでもご参加できます。**

子 (テモテ) 呉光現 (総主事)  
**★大阪キリスト教連合会 代議員 (代表以外任期 2 年 2024 年 5 月まで)**  
 主教 磯晴久 (代表) 司祭 成岡宏晃 司祭 原田光雄 小出裕司 (アンデレ)

# 川口基督教会宣教協働教会

セシリア 浅海 由里恵

昨年11月27日の礼拝中に川口基督教会と韓国・南陽州聖生院教会との宣教協働関係調印式を行いました。およそ、6カ月間の準備期間の間に両教会でオンライン会議などを何度も重ね、当日を迎えました。韓国側からは李在福主任司祭夫妻と信徒代表の方をお迎えし、無事調印式が行われました。

宣教協働調印文には「主にあって愛の交わりを分かち合い、共に祈り、それぞれの宣教の歴史と経験から学び合い、両教会の新たな未来を模索するために努めます」と記載されています。この協働関係には、2つの大きな原則があります。

1つ目は「相互責任と相互依存」もう一つは、「宣教のパートナーシップ関係」です。教会間交流においても、両教会と



(川口基督教会信徒)

両教会に連なる人々はキリストによって結ばれて応答していき、支援する側とされる側という依存関係ではなく、宣教の仲間として共に働くことで交流関係の深化を目指しています。

まずは、お互いの教会をよく知るために毎主日の週報の交換を行っています。今後どのような協働関係ができるかを検討しています。3年間の宣教協働関係の間に教会間の交流が豊かに紡がれ共に成長することができそうですように祈っています。

# アモス金頭昇司祭ご挨拶

大韓聖公会ソウル教区から大阪教区の派遣になりました。アモス金頭昇です。2020年から大阪で一緒に祈りながら勉強する予定でしたが、コロナにより最初の計画より2年ほど遅くなりました。2022年4月19日、ようやく大阪教区に辿り着きました。

大阪教区に来ることは、皆さんの慈悲と配慮がなくては叶いませんでした。皆様にあらためて感謝いたします。また昨年12月、聖婚式を川口基督教会にてすることができました。より大きな慈悲と配慮いただきありがとうございます。

私は1986年、倭館という田舎で生まれました。ここはベネディクト修道院のまちで幼稚園、学校に通いました。その後、韓国のIMF事態で2000年にソウルに引っ越しました。ソウルの薬水洞は当時、再開発事業で住民と建設会社が争っていました。貧しさや暴力を経験しました。これからキリスト教の信仰と貧しさの関係について悩んでいます。聖公会大学に入学しながら自然に聖公会信仰に触れ、特に分かち合いの家の宣教活動に夢中でした。私はソウル教区薬水洞教会で神学生として

勉強してからの、ソウルより北朝鮮と近い抱川の分かち合いの家で活動しました。分かち合いの教会を務めることをはじめ、フードバンク Food Bank、移住民支援センター、シニアクラブでセンター長の実務をしました。また、幸福弁当、ケアセンターでチャプレンを務め、事務局では事務局長まで兼任して働きました。ソウル教区では執事聖職研究会であるディアコニアの研究を担当しており、日韓共同宣教委員会の社会宣教委員を務め、磯主教様とはじめて会いました。

抱川の分かち合いの家での様々な活動の中で私に満たされない部分がありました。それは貧しい人々と小さくされている人々の死と葬儀に関することでした。いろいろな意味で、私は実質的な準備ができていないと感じました。そして私たちの礼拝と私たちの生活を貧困、暴力、苦痛の問題を直接結びつける礼拝中心の宣教を想像しています。まだまだ勉強が足りないと感じていました。このような問題意識を持って2020年日本に臨床牧会訓練を決めました。同志社大学実践神学博士課程に入学することになり、2023年4月から勉強をはじめます。

信仰の中心に置かれている

のは「私の願いどおりではなく、御心のままに、マタイ26・39」主のゲッセマネの祈りです。まだ若いので自分の意思や力を入れたりしますが、祈りながら手放して神様に寄り添うことを願っています。

コロナにより、留学計画は2年遅くなりましたが、2年の間祈りと、礼拝の共同体である教会が、しんどい時間を過ごしていました。そして多くの方々が病で苦しんでいました。教会共同体が最も大切であることに気づきました。神学というのも教会があるからこそ成り立っているという簡単な事実が目が覚めました。いつもあり、どのような困難も大丈夫だと思っていた教会ですが、それは見えないところで働く信徒の努力によって支えられているものでした。これから私も、皆さんの大阪教区への、その努力に参加していきたいと思えます。

2022年4月19日の以降1年近く教区の教会を旅しています。教会の「根」であり、「実」の礼拝に参加しています。大阪教区の宣教の「主演」である皆さんの宣教と信仰がさらに輝くように、楽しくて愉快な「助演」になりますように頑張りたくて祈っております。

(大韓聖公会ソウル教区司祭、大阪教区宣教協働者)

常置委員長の抱負

常置委員長

司祭 バルナバ 小林 聡

昨年、教区会演説において、磯主教様から三つの柱が話されました。①持続して安定的に礼拝を守ること ②宣教・伝道に力を入れること ③生きづらさを感じている人々、子どもから大人、高齢の方、外国にルーツを持つ方 ③でないな牧会

その方針を実現するために、常置委員会は報告と協議、諮問を通して話し合い、決定し、伝え、実践することを使命としています。

特に今年、教区成立100周年、婦人会成立100年の年でもあり、これまでの歴史を振り返りながら、その一つひとつに励まされ、気づかされ、促されていきたいと考えています。

今教区は、主教様も指摘されている通り、牧師の減少、信徒の減少、財政の逼迫、そして複雑化する社会の中で宣教・伝道の中身が問われています。

ます。

先日の教区成立100周年記念事業準備委員会の中でこんな話が出ました。青年が企画の段階から入っていない、と。確かに実行委員のメンバーの中に青年はいません。私たちははたと気づかされたのです。私たちはより多様で、違いを持った人と一緒に考え、実行する中で神さまの息吹が私たちに生かしてくださるというところを。ある人々の間で語り伝えられている言葉があります。平和とはどれだけ多くの違いを抱えられるかだと。違うことは実際面倒で、ややこしくて、思い通りにいかないことが多いように思えます。しかし、私たちは違うからこそうれしいと、そう思える教区、教会でありたいと思います。

昨年、私たちが所属する石橋聖トマス教会と庄内キリスト教会が合併し豊かな交わり、協働が実践されています。今年、複数教会の協働、そして協働牧会が始まったこともあり、より教区が一つの体として歩み始めています。

ここで、少し私の思いを書かせて頂きます。昨年から話

題に上っていることですが、

教会合併し、伝道教区にし、教区主教を選出するにしろ、磯主教様の仕事量の多さについて、私たちがどれだけ分かって持てるのか。分担し、互いに担い合えるのか。それなくしては教区の宣教はありえないようにも思えます。ですので、私たち常置委員会は主教様が十分なリトリート（離れてリフレッシュする）の時を持てるように。そして、教役者が協働し、また心から休める体制をとれるようにしたいと思っています。

今、教区では、キッズ・フェスティバルの準備が進められています。そこに大阪教区の4つの児童養護施設の子どもたちも集い、神様の家族として安心して共に過ごせることができるようにしたいと思います。

大阪聖三一教会に出来た地域小規模児童養護施設「つむぎ」の存在は、まさに救いの主イエス様が私たちのただ中に来てくださったことを思い起こさせます。子どもが大阪教区を導いてくれている、そんなビジョンを私は思い描いています。

(贖主：パウロ・高槻、各教会牧師)

『杖ひびき』

「わたしの杖ひびきは負つやすく」

大阪聖愛教会

ヨシユア

高島 幸二

礼拝堂でスカウトたちを前にリーダーがお話をしています。みんな「くびき」って知ってる？「イエス様は私のくびきは負いやすい。」とおっしゃいました。今日はそのお話をします。「モウ・ウッ」主役は牛です。牛と言えは何を思いますか？「ビーフステーキ」「焼肉」そうね、牛肉になる牛を肉牛と言います。じゃあ牛乳は？牛乳を搾る牛は乳牛と言います。牛肉・肉牛、牛乳・乳牛おもしろいね。もう一つ私たちの役に立つ牛がいます。

今では畑を耕すのはトラクター、物を運ぶのはトラックを使っていますけど、機械が発達する前は力の強い牛を使って畑を耕し、荷物を運んでいました。役に立つ牛だから、この牛のことを役牛と言います。そして、物を引っ張る時に牛の肩にあてる道具があり、これを「くびき」と言います。この「くびき」と荷車がつながっていて、牛は重い荷車を引っ張ることが出来るのです。牛は大変だね、重い荷物を引っ張らなければなりません。平坦な道ばかりではありません、でこぼこ道や長い上り坂もあります。

牛は一生懸命荷物を引っ張ります。さて、実は君たちスカウトのみんなも重い荷物を運んでいきます。それはスカウトとして神様の御用をするという、大変大事な仕事です。私たちの仲間が一番年少のグループ。ビーバー隊の「やくそく」には「みんなと仲良くします」とあります。みんなと仲良くするにはどうしたらいいでしょう？それは神様が私たちが愛してくださっているように、私たちもみんなを愛することです。これはなかなか簡単にはいきません。普段、仲のいい兄弟やお友達とも時々けんかや言い争いになったりします、いつもいつも仲良くしているというのとてもむづかしいことです。でも、神様は私のくびきは負いやすいとおっしゃいます。心配はいらぬのです。なぜなら私たちのそばにはいつも神様がいてくださるからです。私たちが重い荷物を引っ張るとき、神様もすぐそばで同じようにくびきを負い荷物を引っ張ってくださるからです。それを知った時、それを感じた時、その荷は軽くなるのです。さあ今日もみんなとなかよくできるスカウトになれるよう活動を始めましょう。

杖ひとつ(続き)

1963年8月、大阪聖愛教会にボーイスカウト大阪第87団が生まれた。その時より60年にわたり、活動を続けることが出来ている。教会信徒のみなさん、スカウト保護者のみなさんのご協力、そして何より神様の導きがあつてのことと感謝している。神様の愛を一人でも多くの子供たちに伝えるため。至らないところは、神様が補ってくださると信じ、神様が必要とされる限りこの運動を進めてゆきたい。

みあとをふみつつともに  
すすまん 弥栄

### 大阪教区関係教役者 2月逝去者記念聖餐式

2月8日(水) 10:30~

- 1日 宣教師 エルザ M.キーン (1949英)
- 3日 司祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 5日 司祭 バークレー・フォーウエル・バクストン(1946英)
- 8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド(1932英)
- 宣教師 司祭 パメラ A. クーパー (2021英)
- 10日 司祭 祖山 達三 (1941)
- 司祭 皆川 晃雄 (1952)
- 宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル (1956英)
- 13日 伝道師 マリヤ 奥田 ヤス子 (1949)
- 14日 司祭 J. ハミルトン・クインビー (1882米)
- 16日 司祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
- 17日 司祭 ジョージ・ヘンリー・ポール (1929英)
- 19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
- 20日 司祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

#### 【常置委員】会報 11/23(定例)

常置委員長に小林聡司祭を、書記に辻節子氏を互選した。

12/15(定例)

#### I. 主教報告及び諸報告

\*冒頭で前期常置委員会との引き継ぎを行った。

【コロナ関連対応について】

\*第8波が懸念されているが、対応は従来どおり各教会の判断に任せる。

#### 【総務局】

\*石橋聖トマス教会の不動産登記が12月15日に完了した。

\*聖ヨハネ教会の一元化実務作業を開始、来年6月に完了する見込。

\*ランベス会議の参加費(機主教分)が返金された。

#### 【財政局】

\*牧会献金は、今年度末で目標額300万円を達成見込み。

\*協議事項及び主教諮問  
\*主教からの人事案(3局長ほか)について承認。総務

局長は内田望司祭、宣教局長は古澤秀利司祭、財政局長は寒河江研司氏。また、今年度の諸委員一覧を確認した。

\*9教会から推挙されている信徒奉事者を承認した。

\*第130(臨時)教区会は3月19日(日)午後3時開催とし、提出議案について協議した。

\*教区成立100周年記念事業の準備に関して協議した

\*中日本宣教協働区の今年度協働委員に小林聡司祭と太田幸彦氏(聖ルシヤ)を承認。

\*2023年から始まる高槻聖マリヤ・大阪聖パウロ・聖贖主の3教会における協働牧会(チームミニストリー)について確認した。

\*教区事務所の勤務態勢について協議した。

#### 聖婚

大阪聖ヨハネ教会 (12月10日)

新郎 クリストファー 高木 謙一郎

新婦 谷垣 実加

#### 洗礼

大阪聖アンデレ教会 (12月25日)

マタイ 小椋 太心

#### 逝去者

川口基督教会

(11月24日・87歳)

イサク 白石 道尚

大阪聖アンデレ教会

(11月29日・94歳)

ペテロ 白石 道頌

大阪聖愛教会

(12月4日・96歳)

エリサベツ 則武 綾子

堺聖テモテ教会

(12月5日・88歳)

ラファエル 高橋 國夫

魂の平安をお祈りします

#### 主教巡回予定(2月)

5日 富田林聖アグネス教会

12日 大阪聖ヨハネ教会

19日 大阪聖三一教会

26日 尼崎聖ステパノ教会

#### お詫びと訂正

○12月逝去記念礼拝

(誤)司祭久保道則(2011)

(正)司祭久保道則(2012)

お詫びして訂正致します。